

有宵会だより

第92号
 発行所
 特定非営利活動法人
 岳易館・有宵会
 編集 広報部
 松戸市新松戸1-64

九星と易断による

四月・五月の運勢

気学では辰の四月

四月五日（清明）節入り

8	4	6
7	9	2
3	5	1

ア
生
天
道

気学では巳の五月
 五月六日（立夏）節入り

7	3	5
6	8	1
2	4	9

生
気
ア



一白水星の人の運勢

四月筮―火雷噬嗑の上九

五月筮―山沢損の六四

四月は乾宮同会で月破

が付くので公私に慎重運。

大胆に行動せず時を待つ。

仕事は新種目が良く対人

面は下旬頃円滑、金運は

滞りがあるので心得る。

家族の集まりは楽しみ。

風邪、潜熱、消化、疲労。

五月は諸事一息つくと

で安心感、人情豊かなと

き。仕事は手違いと人任

せにしない。家庭用品の

新旧交替プラン、愛情は

豊かでも誤解あり。古歯

口腔、血圧、生活習慣症。

二黒土星の人の運勢

四月筮―雷地予の上六

五月筮―水地比の六四

四月は気楽に背を伸ば

してみる。日々予定を決

めて進める。予定外は延

期安易な口約束は避ける。

諸事に経験を生かす。わ

が家の食事楽しむが單身

者の寂しさ趣味を楽しく。

一白水星の人の運勢

肩首こり、歯肉、整腸。

五月は良宮アが付くの

で変化を求めず安定を。

何かと荷が重い独断避け

る。誰にでも柔軟で意地

張り損する。探し物が多

い。お節介と出費を防ぐ。

皮膚、花粉、便秘、持病。

二碧木星の人の運勢

四月筮―風雷益の初九

五月筮―地雷復の初九

四月は多事多用で忙し

い。良宮同会で荷が重い

が丁寧な処理。仕事は抱

えず余裕をつくる。家庭

難事に即決しないで待つ。

愛情は素直に受け曲解を

せず。散財さけ安全に。

関節、筋肉、胃腸、怪我。

五月は予定や構想など

実現を目指す。懸案問題

は見通しがつく。家族の

気持を繋ぐ祝儀事の話が

出たり、仕事は前月から

の復調、書類処理入念に。

頭痛、気管、動脈硬化。

四緑木星の人の運勢

四月筮―火地晋の上九

五月筮―風水渙の上九

四月は離宮同会アが付

くので自重運、公私にわ

たり慎重な判断で対処。

立場地位、金銭、文書に

注意。仕事は現状優先し

無理押しをしない。ウマ

イ話に棘あり安全運転で。

視力、歯、動悸、血液。

五月は急場の問題は

一段落、知恵を体験から上

手に凌ぐ。家庭に和と夫

婦の絆が一番。仕事は意

見合わず調整、子供目下

の意見尊重、わが腕磨く。

腰部、聴覚、生理、泌尿。

五黄土星の人の運勢

四月筮―天風姤の上九

五月筮―山沢損の六四

四月は堅実さがよいが

小変化に乗りやすい。情

報量が多く惑う。対人関

係は始めよく終わり悪し。

予定と準備は後手になり

やすい。投資運用は見込

の通りにならず財布固く。

疲労、視力、風邪、神経。

五月の運気は良好、自

分のペースでいく。旧習

を守り新規に走らず平穩

に。仕事は復調、友人と

の再会を喜ぶ、見積りや

計算書など金銭ミス用心。

食道と胃、腹部、肝疲れ。

六白金星の人の運勢

四月筮―火水未済の六五

五月筮―山雷頤の上九

四月は安定を求める。

日常生活のマンネリを改

める。交渉事や商談は相

手の理由で変わりやすい。

実家や親戚の付き合いは

穏やかに。成行きを見て

決断、諸事に現実路線。

疲労、胃、冷え腎、筋力。

五月は忙しさがつづける

が充実さあり。仕事は熱

入り分業が効果的、対人

面で新たな人との交わり

が楽しみ、専門職に凱歌

得て向上心が高まり吉。

気管、足腰、肝系、睡眠。

七赤金星の人の運勢

四月筮―火天睽の初九

五月筮―風山漸の初六

四月は気分サツパリと

展開、予定のコースと新

機軸を打ち出すチャンス

気合が入るが甘くはなし

仕事は几帳面さと責任を

問われる。過去の経験を

生かして実績を積上げる。

足元、小腓、肝胆疲れ。

五月の課題は順調でも

一部に不成就あり。協力

者を得て仕事に成果、交

際出費で足が出そう。安

請け合いは禁物で煽てに

乗らず、信用第一とする。

風邪、感染、大腸。腰痛。

八白土星の人の運勢

四月筮―火天大有の九四

五月筮―雷天大壮の九二

四月は用事多く忙しく

振る舞う。仕事は仕上げ

が肝心慌てるとミスが出

る。若さと意欲で公私に

頑張ってみる。人情豊か

でも相手によりけり、技

術や学習面で花開くとき。

肩腕凝り、股腰、腫物。

五月は何かと用事多く

忙しい。一部は無理せず

延ばすこと。二兎を追わ

ず方針を定める。本首で

話せば通じ和を図る。新

品購入や友情の喜び。

気疲れ、消化、血圧と糖。

九紫火星の人の運勢

四月筮―離為火の初九

五月筮―震為雷の九四

四月は気楽に過ぎし煩

悩にとらわれず、家人と

寄り添い愛情を深める。

是非善悪のことで咎めず

仕事の自身は苦勞も多い

が遣り甲斐あり。書類の

混乱と結果に手古摺る。

疲労、胃腸、体力力減。

五月は強気にならずソ

フトに引き付ける。仕事

は筋を通してみること。人

人には素直に接して良い

が、お金に見栄を張らな

い。笑い顔があれば吉運。

頭部、心臓血圧、過勞。

福田 有宵

一月有宵会報告

山本 悠里帆

平成三十一年一月二十六日(土) 足立区勤労福祉会館ブルミエにおいて、新年一月の有宵会が開催されました。司会は佐藤宗眩先生です。福田先生の新年のご挨拶に続き、菅原有恒先生からお話をいただきました。



福田先生

皆さんもこの有宵会からどんな社会に出て、正統なる易学の普及を進めて頂きたい。今年、易学について、新たな展開を目指して行きたいと思います。

菅原有恒先生

「大成殿立筮と心臓血管手術」はじめに心臓検査の結果と治療予定

①平成二十五年五月にカテーテル治療Ⅱ右冠状動脈の後下行枝閉塞率90%

直線型ステント法
②平成三十年二月に三次元CT検査Ⅱ左冠状動脈主幹部と左回旋枝の閉塞率90%&75%
③同年三月二十六日検査入院と手術の予定
カテーテル治療の予定

*大成殿立筮(平成三十年三月二十四日)

占的…手術はどうなるか
得卦…沢雷随の四爻
伏卦…水雷屯

○辞の判断
①卦辞…随・元亨利貞。无咎。

正しく事を認識して事に従い時に従うのでないと、道に叶わず咎があるという

こと。あくまで従の道で大吉ではない。発展より退守するのが良い。

②九四の爻辞…随有獲。貞凶。

有孚在道以明何咎
自分のところに集まってくる時。自らの中に包容すること(私恩)は良くない。

一人の医師を頑なに信用して他に適当な専門医がありながら変えない場合は凶。

○病占の判断
①卦辞…随

・病症…兌を肺とするの

で、肺機能の低下・精力減退など、二つ以上の病気が重なったもので、早期に手当てを施すように注意。気が付いた時には重体になっているということもある。

・病勢…見かけたころは重病でもなければ大病でもない。次第に病勢が募り、ついには重体に陥る傾向、最善の手段を講ずべき。

②爻辞…九四
胸の下の痞硬(つかえかたい)：速やかなれば治癒に到るが、長引けば次第に病勢募り、不起の症となる惧れがある。

*検査結果と手術の経過

1、カテーテル検査結果
・左冠状動脈主幹部上部閉塞率75%左回旋枝90%。いずれも交差部にあり。

A、カテーテル治療としては、かなり難しい手術となる。T字型のステント法。(A医師担当・循環器内科)

B、別の手術方法として、バイパス手術が提案される。(B医師担当・心臓血管外科)

2、選択の基準
・カテーテル治療とバイ

パス手術の比較検討
3、判断の根拠

・カテーテル治療後の再狭窄によるバイパス手術時の高齢による体力低下

・易占…沢雷随の九四
○九四爻辞…一人の医師を頑なに信用して、ほかに適当な専門医がおりながら変えない場合は凶。

正にB案を採用すべし。
○卦辞…あくまで従の道で大吉ではない。このままの手術方法では「屯」になり、上手くいかない。医を変える必要がある。

カテーテル治療からバイパス手術への変更。且つ、担当医の変更。目先のメリットよりも将来を優先。

○兌…血行不順、坎…血行良好となる。

4、その後
足の血管利用。むくみは1~2年かかってとれる。

○関心毎の達成
⑦一か月後に、大作が書けるか? 書けた

⑧二か月後に、海外に行けるか? 敦煌にまで行ってきた。

⑨十一月に再度の中国の旅に行けるか? 充分大丈夫。

5、参考
○沢雷随の別の爻辞が出

た場合は?
初九 沢地萃…軽傷の場合が多い。速やかに治療すればおおむね回復。

六二 兌為沢…長引いて治癒甚だ容易ではない。重症急病は危篤。

六三 沢火革…病勢一転の機にある場合が多く、医師または薬を換えて好結果。

九五 震為雷…(帰魂卦)持病の昂進と相まって危険をはらむに至ったもので、生命危篤の病勢。上六 天雷无妄…すでに治癒の期を逸したる傾向あり。重体者にあつてはもはや絶望の占示。

五 行の中で判断していく。||どのような心配をするか、体質は? どう過ごしていくか?

インフルエンザが猛威を振るっている。
○どういう状況か? 今後の推移は?

坤為地の上下
老人・子供に警戒が必要。

○どういう流行の仕方か? 水雷屯の六四

ぼちぼちいく。十年経つてからぶり返してきた。周回のリズム。

星の性情として、九紫は流行性のものが出る。亥年で、九紫が来た。

十二支は地、九星は人・社会を表す。こういうところも考慮に入れる。

~ここで、復習~

平成三十一年、九星における年運について

福田有宵先生

今年はどうなるかなるか?



*運気の判断においては
どういう根拠で運を捉え
るか、が大切になる。

- ①同会・被同会
- ②遁甲法

運気の巡りはどの位の
期間か？

運とは時間の連続である。
二年・三年の流れの中で
どう動いていくか？

- ③五行の相生・相剋法
- ④对冲法

方に目が行く・気にする・
関係が深い・象意が表わ
れる。

⑤傾斜法

個人の問題として取り入
れる。

*先ず、全体運を一言で
捉える。

*運勢は、盛衰・消長・
吉凶・調、不調

(ここに年盤)

平成二十一年

十干では己亥土の中に
種を播く。終わりから始
めに行くところ。
八白土星が中宮。

一白水星

兌宮に同会。

四緑木星が被同会。

ここ数年思うにまかせ
なかったが、昨年あたり
から見通しがついてきた。
周りの問題も落ち着いて

きた。やれやれという年。
自分のペースで過ごすこ
とができる。今までの辛
いこと・重いものを少し
軽くできる。

兌宮に同会しているの
で、口のきき方・お金の
ことに気を付ける。豊か
な気分で飲食について素
直になれる。

運気はゆっくりする。
欲を出さない。7、8分
のところまで運を捉える。

仕事は評価されている。
(昨年からの評価)

被同会の四緑から、少
し無理をすると風邪をひ
きやすい。(気管支・呼
吸系統)

対沖は六白金星

六白で、完璧を目指す。
その結果、過労に陥りや
すい。慢性的な疾患があ
る場合は、そこを気を付
ける。

東西の線呼吸器系

○運気に合わせていくこ
とが、幸せである。素直
さが必要。逆らえば体に
来る。(ストレスとなる)

二黒土星

艮宮に同会。
五黄土星が被同会。
定位対沖。五黄土星と対
沖し暗剣殺が付く。

良宮に同会し、意地を
張り、自分の意見を曲げ
ない傾向。ここは人生の
知恵、コツを学ぶところ。
遺言状を書く。次の離宮
でしっかり書類作成。

自分自身が変化したい。
生活・仕事を改革したい。
人生の主なことが変わる。
(生命線)古いものと新
しいものが混在している。

変化・改革は地道に計算
していくこと。暗剣殺が
付いていると、勢いが付
く。調子に乗って決断を
簡単にしてしまう傾向。

古い問題で変えたいと
思うが、まず整理整頓。
古いキズに触れない。

(五黄)
交際関係では、古い友
人知人の話に深入りしな
い。深入りすると、アン
ケンが出てくる。

三碧木星

離宮に同会。
六白金星が被同会。
四緑木星と対沖。
離宮は、頂上である。名
実のうちの名。今までの
努力が実を結ぶ。

自分を出したい。(一、
二年前から努力している。
運気の土台を作るのは三
年。どうであったか。)

自尊心が高まる。人の事
が気になる所ねたみな
どに捉われやすい。心の
問題が出る。
友人関係の付き合いをど
うしたら良いか。コンプ
レックスを感じる。(九
紫・六白・三碧)

白黒をつける所。(キチ
ンとしたい。)裁判ごと
は、紛争が出る。
運気は半年ごとに見る。
グングン伸びるのが前半
年、後半は少し整理して
いく。

四緑木星
坎宮に同会。
七赤金星が被同会・歳破
付き。(相手側は問題を
抱える・付き合っはは
けない。)

三碧木星と対沖。(驚く
こと・状況変化あり。四
緑の月)

思うようにいかない自
重運。協力者・パートナー
など、引き上げてくれる
人がなかなか現れない。
しかし四緑とは相生なの
で、それ程坎宮の厳しさ
は出ない。(どこ吹く風
と受け流せるか)

五黄土星

自分の方から内にこも
る。親子の問題(離坎・
気の流れ、血脈、先祖)
・親や子の為に、自分が

犠牲になるような場面で
注意深くなってしまう。
・家庭内、家族に伴う愛
情問題。隠さなければな
らないこと。
・寂しい。周りを支える
立場。目下、部下の面倒
を見なくてはならない。
*七赤の破れ
口に出しての失敗。相手
を怒らせてしまう。グチ
が出る。

自分一人で頑張っしてしま
う。ウワサが出る所(坎
宮で辛い)。思わぬこと
が出て、人と付き合うの
が嫌になる。
自分の実績が認められな
い。情報が入らない。
(破なので正しい情報か
どうか吟味する)

4、5月春頃気を付ける。
○マイナスの意見には、
常に対処策を出すこと。
気分を変えよう・土台を
しっかり守る・仕事はしつ
かりやる(安定している)

*対沖は三碧木星で比和
上司がうるさい・上司と
ペースが合わないお互
い飲み込むこと。
笑いが少ないお互いを大
きく開けて、大声を出して
みよう。

八白土星が被同会。
二黒土星(ア)対沖。
安穩に暮らせる年。
坤宮から運気は上向く。
新たな道が生まれる。今
までの姿が出る。
古いものを尊ぶ・生かす・
値打ちあり。
家庭内の付き合い、誰が
いるか(母方の方、妻の
方)女系についての問題
をみる。
西南に入口・門があるか？
妻の里方の縁が強くな
る。
二度目のチャンスを与え
てくれる。(再婚など)
土台作りが必要。来年、
再来年を見越して準備を
する。チャンスの作り方
は、じっくりと。大地に
ひれ伏しても起き上がる
うとする力がある。
八白被同会で、身内・親
戚・縁故との付き合いが
例年より増える。
八白の象意が要求される。
(財産・地境・礼儀作法
・挨拶がなかったなど。)

古い問題が繰り返される。
二黒の対沖・暗剣殺付き
で、トラブルに巻き込ま
れないように。
配偶者との関係は、つき
はなせない・面倒を見な
くてはならない。

坤宮に同会。

五黄土星
坤宮に同会。

昨年患ったものの再発あり、注意。

「先を見る！」

六白金星

震宮に同会。

九紫火星が被同会。

一白水星対沖。

自分から開拓していく年。これが開運。企画があればやってみる、計画を実行する時。前向き・活気あり。勢いをつける。GOサインを出すとき。

今年は一所懸命に仕事を。来年再来年を見ていく。十の働きで七位の実入りのところ。

早合点をしやすい。口約束はダメ。後でもめることになる。

九紫の被同会で、我が強くなる、意地を張らないこと。白黒をつけるようにと相手から来る。

*健康面

薬をどういう風に使うかで、運勢が変わる。

ややデリケート、神経的な思いが出る。心の動きがあり、こじれてくると寝られない。直感的・感情的・一心になる。思いつめるところ。

足の疲れ・しびれ・痙攣・ふくらはぎが脹れる。肝機能に注意。喉・気管支・声帯が疲れやすい。

音が気になる。

七赤金星

巽宮に同会。歳破。

一白水星が被同会。

九紫火星対沖。

順調運の年。信用と実績があれば、良い運氣。信用は長い付き合いの中で育まれる。信用を無くしたら、ここ巽宮は怖いところ。

繋がりをつけていく。

2〜3年前から2〜3年後まで見ること。

巽宮の破れは、対人関係にある。壁がある・違う問題にすり替わるおそれ。縁がある、しかし破れがある。どんな破れ？

九紫が対沖し、キチンとした信用と実績を出す必要あり。

*健康面では、入院すると少し長引く。五黄殺方位で、誤診あり。

体質が変わる(良・中宮・巽)、内臓の変化で体臭が出やすい。皮膚の炎症。

八白土星

中宮に同会。

二黒土星(暗剣殺付き)が被同会。

今年の中宮年、中央にいる。周りから見られている。俗に八方塞がりとも。しかし八方から手を差し伸べてくれてもいる。陰

陽の始まり・境目のところ。

運氣は頂上に入り、強い。三年位前(震宮の時)から見ていき、前年が良かったら今年も良い(前半三分の一)。変化運のところであり、だんだん下り坂の傾向。そのため良い運氣ならば、継続できるように現状維持の努力をする。

二黒土星の暗剣殺付き被同会なので、人との付き合いでは深入りしないように気を付ける。対人関係が思うより複雑な時。問題が出ると、こじれやすい傾向が出る。

暗剣殺付きなので、今までの流れを変えなくてはならない。変化運なので、目標を持って、うまく変わるように。

健康運は、内臓全体が中宮にあるとみる。早めに治療をしないと、慢性化しやすい時。心臓・脳など。

九紫火星
乾宮に同会。

三碧木星に被同会。

七赤金星(歳破付)対沖。

乾宮に同会し、活気がある。去年の分を取り返そうとする。チャンスを与えられるところでもあ

る。考えてきたことを実行する時。ここで頭を下げられるか、柔軟さが必要。調子に乗らないようにする。自信がつくし過ぎる、という状態になる恐れあり。人の意見をきかない、独断など。

三碧被同会で、ウツカリ発言や言い過ぎになることに注意を要する。

七赤の歳破付きと対沖

するので、付き合いに思わぬ出費の用心を。

健康運は、血圧・頭部・心臓・気管支・骨の部位の、予備症状を捉えることが重要。

山本 悠里帆



中国易学の源流を辿る旅

泰山 林翰

前回福田先生とともに中国へ出かけた平成27年10月、早いものであれから3年、お陰様で今回の中国旅行も無事皆様

とご一緒することができました。旅の計画をするに当たり気を配ったことや取り組んだことなど反省も含め振り返りながらまとめることといたしました。

今回は、何も様子がわからないまま他の先生方について行く旅でした。今回は、実施するための幹事役を仰せつかり、3

年先を目指してまずは計画を練ることからスタートです。行き先、時期、さらに易学の交流をどういう形で取り込むかということを検討していくことから始めました。

今回は幹事役に金原先生にもお手伝いいただき旅行会社の東華商事の斉藤さんと相談を進めました。行き先ですが、福田先生からは以前石窟に行つてみたいというお話を伺いました。中国の石窟といえ

ば、雲崗石窟、龍門石窟、莫高窟が有名です。そのなかのどの石窟にするかは全体の行程上との兼ね合いもあります。易学に交流については、前回が青島で周易を学ばれている皆様との交流や曲阜の孔子学院での交流など工夫がされてい

ました。さて、時期については前回が10月末でしたから、今回はもう少し早く9月はどうかなど、先生方々と相談を進めていくこととしました。9月の末、10月の中旬、そして占術協会のシンポ

今回は、斉藤さんとの相談を進める中で、中国北岳恒山に中国の易学協会の重鎮の方がおられ、そこでの交流が可能ではないかとお話をいただきました。そうすると、大同の近くということになり雲崗石窟が有力ということになりました。さらに今回は易経の源流を辿りたく、八卦を作ったと言われる甘肅省の天水にある伏羲廟を訪ねたいこと、天水には中国三大石窟に次ぐと言われる麦積山石窟もあり、できれば両方へと相談を始め、行程中にある仏教伝来の地五台山もと打診をしたところ

です。また、前回東岳泰山山頂への階段がきつく、かなり難儀をされる方がいらつしやつたことから、恒山など登りのあるところは十分配慮をしていただくようお願いをいたしました。

さて、時期については前回が10月末でしたから、今回はもう少し早く9月はどうかなど、先生方々と相談を進めていくこととしました。9月の末、10月の中旬、そして占術協会のシンポ

また、前回東岳泰山山頂への階段がきつく、かなり難儀をされる方がいらつしやつたことから、恒山など登りのあるところは十分配慮をしていただくようお願いをいたしました。

ジウムが終了してからということになり、10月30日に出発と決定することとなりました。日程については前回が4泊5日でしたが、今回は中国国内での移動がかなりあるため（いろいろ盛りこみ過ぎかも）5泊6日としました。経費については、なるべく抑えたかったものの飛行機や新幹線を利用するため、やむを得ず20万円を超えることとなってしまいました。行程については最終的に11月にかかることから、五台山は雪山凍結の可能性があり削ることとなり、麦山石窟も日程の都合で削除、西安から天水まで当初バス移動の予定が、新幹線が開通したことから中国版新幹線での移動が可能となり移動時間の節約へとつながりました。

また、現地での立筈は、行ってみてとのことでしたが、伏羲廟の中央で一堂による立筈が行われ、さらに恒山でも寺院のご本尊の真ん前での全員による立筈実施など想定外に上手く立筈が行われることとなりました。

参加者は18名、バスポート3大事件などありましたが、楽しく無事に所期の目的を達することができたのではと思っています。

次回に向けて清水先生を中心に検討が進められていくことと思いますが、やはり山登り階段の厳しさ、普通のお土産物屋さんにおくる行程を予め組んでおくこと、ホテルは部屋の状況や対応など前回に比べて今一つだったかなということなどを次回に生かしていければと感じています。

福田先生、菅原先生、佐藤先生をはじめ参加された皆様お疲れ様でした。東華商事の斉藤さんや通訳、現地ガイドの方々ありがとうございました。

2018年11月1日 天水伏羲廟にて 占的
私の占いへの心構えは 地水師六一
2018年11月2日 恒山恒宗殿にて 占的
今後の持つべき目標は 乾为天九四

福田先生、菅原先生、佐藤先生をはじめ参加された皆様お疲れ様でした。東華商事の斉藤さんや通訳、現地ガイドの方々ありがとうございました。

2018年11月1日 天水伏羲廟にて 占的
私の占いへの心構えは 地水師六一
2018年11月2日 恒山恒宗殿にて 占的
今後の持つべき目標は 乾为天九四

加者(8名)
・08:30;羽田空港出発
・CA184機内食
・11:30;(現地時間)
北京国際機場着
*北京ガイド・邵瑛輝さん(東華商事北京事務所)
今年五月の日中自詠詩書交流会敦煌展の共通ガイドをして頂いた。半年ぶりの再会。
・12:30;[昼食];北京空港内 星陽舫(北京料理)
・13:30;国内線に移動
ここで、邵さんとお別れ
・14:20;北京空港国内線出発:CA1201機内軽食
*2空港内の持物検査は、国内の治安騒動の影響もあって、国内線の方が厳しく、パソコン・蓄電池などを手持ちして見せなければならぬとのこと。何人かの方も引っかかりました。
・16:30西安空港着
*共通ガイド・許勁松さん(港中旅国際(山東)旅行社)・前回の山東省の旅の総合ガイドを担当していただいた。安心して任せられる。
*西安ガイド・膨さん(西安海外国际旅行社有限公司)、運転手・王さん

・17:45;専用車で出発
・19:00;[夕食];徳発長(西安餃子)
・20:15;出発
・22:00;ホテル着。このホテルは、9年前に宿泊したことがあるが、昔は「古都新世界大酒店」と称していた。ホテルの庭にある、秦の始皇帝・胡亥・李斯の三人が並ぶ壮観で巨大な石像を覚えている。
今日は、朝昼夜の正規な食事のほかに、機内食を2回も食べ、合計5回も食べてしまった!
*第2日目;10月31日(水)・雨のち曇り
天水・伏羲廟見学1040歩
西安泊(古都文化大酒店)
・7:00;朝食
・8:00;ホテル出発
・8:30;大雁塔着
*西安市・国家歴史文化名城にも指定されている古都である。
「千年の古都」という美称で称賛される西安市は、100余年の歴史を持つ古都で、かつては長安と呼ばれ、現在は陝西省の人口

約883万人、面積108,108km²、西北地方最大の都市で、この地方の政治・経済・産業・文化の中心地。西安の歴史は、紀元前11世紀に遡り、西周がここを都と定めて以来、秦・漢・隋・唐など12の王朝の都として栄え、また、シルクロードの起点として、三蔵法師が旅を始めた場所としても有名。古代からの文化遺産は豊富で、秦の始皇帝陵、兵馬俑坑、楊貴妃で有名な華清池などが世界中の人々を惹きつけている。現在も市の中心部は明代に築かれた城壁に囲まれ、工業を始め、あらゆる産業と流通の中心都市として、活気にあふれている。
・明代の城壁「西安城牆」;西門(別称:安定門)は、中国内で最も規模が大きく、最も完全に保存されている古代の城壁で、現存の城壁は明の洪武3年(1374~1378年)に築造された。一周13.6km、984の射撃口、98の見張り所がある。城壁の四隅に角楼が一つずつ有り、城壁の四面に主城門が一



名岳易館・有宵会 福田先生と行く中国天水大同易学交流の旅紀行

菅原有恒

つづく有る。門の上に、正楼、箭楼、闕楼が有り、城の周りに護城河という堀がある。現在では、一周約13.6kmある城壁で西安城壁国際マラソン大会が毎年11月の最初の土曜日（今年は11月5日）にあるそうだ。

・鐘楼…西安城の中心に位置し、明の洪武十七年（1384年）に建造され、敷地面積378㎡、高さ36m、土台は正方形をなし、一辺の長さは5.5m。楼は三重の庇と四角い攢頂があり、屋根に暗緑色の瑠璃がわらが葺いてある。昔、大きな鐘があり、朝に鐘を叩いて時を告げたので鐘楼という名がある。鐘楼は、建築規模、歴史価値、芸術価値の面で同類建築のトップクラスにある。夜のライトアップは眩いほど壮観である。

・鼓楼；鐘楼から余り離れておらず明の洪武十四年（1380年）に建造され、高さ331m、二重庇の適水式建築。落成後は楼の上に鼓を一つ置き、夜の帳が下りる時に鼓を叩いて時を告げたので、鼓楼といわれる。

・他に、碑林博物館、青龍寺、興慶宮公園、兵馬俑、始皇帝陵、華清池、楊貴妃墓、などの名所がある。今回は、日程の関係から、鐘楼、鼓楼を通り、南にある大雁塔のみ見学することになった。次回是非ゆっくりと見てもらいたい城市である。・9:00；大雁塔慈恩寺

慈恩寺は、唐の高宗が母の分徳皇后の供養の為に永徽三年（652年）建てたものとのこと。大雁塔はその境内に在り、『西遊記』で知られる玄奘三蔵がインドから帰国後、持ち帰ってサンスクリット語の仏典の保存と翻訳の為に建てられた。

塔に入ると、南側の入り口の左右には、唐の書家である褚遂良による石碑があり、太宗の「大唐三蔵聖教序」と高宗の「大唐三蔵聖教序記」が納められている。建碑は永徽4年（653年）。玄奘が貞観19年（645年）に帰朝してインドから持ち帰った仏典の翻訳を進めていた際、太宗は彼の功績に対し「聖教序」（序）の文を作り、また当時（貞観

22年）皇太子であった高宗も「述聖記」（記）を作文した。碑文はこの「序」と「記」で、二碑に分かれており、両碑を総じて「雁塔聖教序」と称している。保存は極めて完好である。それぞれの末行の文によると、遂良は「序」を永徽4年10月に、「記」を同年12月に書いている。大雁塔は高さ64m、7層で、四角形の錘状を呈し、黒い煉瓦で築いた楼閣式の塔で、内部は書画、拓本が飾られ、階段を登りきった最上階からは西安市内の真直ぐな道路とその眺望が楽しめた。

名称は、菩薩の化身として雁の群れから地上に落ちて死んだ1羽を、塔を建てて埋葬したことに由来する。現在は、西安市の東南郊外にある大慈恩寺の境内に建っている。玄奘の設計により、当初は5層であった。各階に仏舍利がおさめられ、經典は上層部の石室に置かれた。玄奘自ら、造営に携わったと伝えられる。当初は表面を磚に覆っただけで土によって作られていたために、老朽化し

てしまった。そのため、長安年間（701年 - 705年）、武則天の統治時代に、全て磚でつくられ、上まで登れるようになり、現在の7層に落ち着くという変遷を経ている。この様子は、杜甫や岑参といった詩人たちによって、詠まれていた。唐時代に進士試験の合格者がここで名を記したことから、「雁塔題名」の成語も生まれた。後に宰相になった場合、その名は朱色に書き換えられた。また、訪れるものに自分の名を書き換えるものもあり、唐代の詩人、李商隱の名が残っている。・11:03；西安

北站出発…高鐵²⁰²¹・12:52…天水南站着

・天水ガイド…引き続き膨さん、運転手…厳さん

・13:00；専用車で天水見学へ。

・13:30；昼食…華天人家

・14:30；伏羲廟

*甘肅省天水にある伏羲廟は490年に建てられた素朴さの中にも優雅さを兼ね備えた古典様式の建築で、先王殿はじめ多くの建物が残されている。中院太極殿には伏羲の彩色

像がある。八卦を作った伝説の皇帝伏羲は中国伝説の三皇五帝の第一皇であり、丸い目、濃い眉と鬚、体にまとった緑葉が特徴的で、古代の原始人の雰囲気漂っている。伝説では伏羲や神農の部落が渭水の流域、天水にあったとされ、伏羲の故郷として祀られている。・1963年人民政府公布して甘肅省重点文物保护单位と為す。伏羲廟址は天水市秦城区（現在の秦州区）西关伏羲路に位置する。2001年06月25日、清古建築、国务院批准列の国家级重点文物保护单位に指定された。伏羲廟は明の成化十九年至二十年間（1483 - 1484年）始建され、前后九次の重修が歷經され、規模宏大な建築群が形成された。清の光緒十一年至十二年（1885 - 1887年）に第九次の重修後は面積13000平方メートルがあったが、現存面積は6600平方メートルのみ。伏羲廟は、街に臨んで建てられ、院落重重相套、四進四院、宏闊幽深である。廟内の古建築は戯楼、牌坊、大門、儀門、先天殿、太極殿、鐘楼、鼓楼、来鶴庁共10座に包括され、新建築は朝房、碑廊、展覽庁等共6座が有る。新旧建築共計76間。整えられた建築群は坐北朝南している。牌坊、大門、儀門、先天殿、太極殿は縦軸線に沿って次排列に依り、屋屋推進、庄嚴雄偉である。朝房、碑廊は横軸線に沿って対称に分布しており、規整画一にして鮮やかな中国伝統建築と芸術風格を具有している。



中国旅行紀行文

長瀬 充宗

中国着いて2日目、西安は暑いくらいの快晴でした。天水に向け高速鉄道（中国新幹線）で移動する日です。新幹線好きの私に

坊、大門、儀門、先天殿、太極殿、鐘楼、鼓楼、来鶴庁共10座に包括され、新建築は朝房、碑廊、展覽庁等共6座が有る。新旧建築共計76間。整えられた建築群は坐北朝南している。牌坊、大門、儀門、先天殿、太極殿は縦軸線に沿って次排列に依り、屋屋推進、庄嚴雄偉である。朝房、碑廊は横軸線に沿って対称に分布しており、規整画一にして鮮やかな中国伝統建築と芸術風格を具有している。

とって、今回の研修の中で、密かに何よりの楽しみな一つでした。駅の構内は広々としており、出発に合わせて入るゲートからの乗車は、まるで空港のようで予想以上の施設でした。車内でお菓子の試食サービスがあり、シートは広告が多くてビデオモニターでもCMが流れていることなどは、日本と全く違って中国の商魂たくましさを感じました。出発音は改良の余地あり、アナウンスが壊れているなど日本の技術の優れている点なども目立ちました。

そんな中国新幹線に到着した天水は、西安より少し気温が低く感じました。訪れた伏羲廟では、本堂の中、念願の伏羲の御前にて立卦することができました。その際、日本式で祓詞と祝詞を奏上。私は福田先生が祝詞奏上される前の祓主として祓詞を奏上させて頂き、おごそかの中で非常に貴重な経験となりました。私の占的は、「人生における指標になる八卦」、咸の六二を得ました。

福田先生より「伏羲の姿を見て、右目と左目にお告げを感じた」とお話がありました。すなわち「右目が天、左目が地を見ておられ、陰陽を示しておられる」とのこと。私はそのお話から「天から地まで物事を広く受け止め、また感じ取るお姿」だと解釈しました。奇しくも私の得卦も「咸」、感じるこの大切さ、感性を磨くことです。頭で考えた理詰めのみで答えを出さぬよう、心に感じなさいとのご指摘を受けたのだと思います。天水での滞在は短い時間でしたが、私にとってとても有意義なひと時となりました。



NPO通信

賛助会費として次の方々からご寄付を頂戴致しました。厚く御礼申し上げます。

- (敬称略・順不同)
- 福田有宵・濱野延珠・安藤忠男・橋本康利・大澤瑠扇・高田玲照・平柳真由

◆鑑定会のご報告

◎三月十日(日) 江東区総合区民センター「ら・館まつり」において、無料鑑定会を開催。



有宵会の他に、日本占術協会所属の先生方にもご出演いただき、今回も多くの方にご来場いただきました。

(鑑定数 二百十六名)

- 出演者 十七名(敬称略・順不同) 佐藤宗暉・半田晴詠・泰山林翰・川又早苗・久保田千恵・岩崎杏泉・長澤光祐・手塚唯次・福田有俊・神崎ひとみ・白土愛真・安井淳子・ア

ルタイトルナスル・ステラボンボヤージュ・奥泉舞音・須田三男・観月◎三月二十三日(土)「みらいフェスタ松戸2019」にて、無料鑑定会を開催。桜開花宣言直後の週末、冬に逆戻りするかの様な厳しい寒さに見舞われ、午前中はみぞれ混じりの小雨も降るお天気でしたが、大変多くの方にご来場をいただきました。



(鑑定数 二百六十七名)

出演者 約十六名(敬称略・順不同) 佐藤宗暉・濱野延珠・長澤光祐・金原玄周・深川微月・山田倫子・川又早苗・久保田千恵・福田有俊・白土愛真・神崎ひとみ・安井淳子・鹿谷仁美・佐藤教室有志数名・八川林加(会場係)

◆行事ご報告

◎二月十九日(火) 有宵会初参り―筑波山神社・

大宝八幡宮へ参拝。

今年の初参りは、東都観光バス二台と自家用車でのご参加を含む、合計九十八名の方が参加。当日は、筑波山神社様で正式参拝、山水亭様での豪華な昼食。そして、大宝八幡宮様では参殿をお許しいただくなど、思い出深い初参りとなりました。また、神社様とのご相談時は、今回も一の宮巡拝会 塩原輝昭先生に諸事準備のご協力をいただきました。また、次の方々にも事務局としてお手伝いをいただきました。

(敬称略) 金子智佳子・福田有俊・泰山林翰・岩崎京泉・金原玄周・沼田大祐・湯川雪路・清水奏琉・手塚唯次・岩崎紀子・阿部治・八川林加

多くの皆様からご協力をいただけたことで安全な旅行となりました。さっそく開運となりました。厚く御礼申し上げます

事務局だより

【重要なお知らせ】

■月筮授与の変更について

福田有宵先生による月筮は、定期例会に継続的なご参加をされている会員へ優先的に授与する方針に変更いたします(三月より順次)。その為、ご欠席中の方には、会報誌のみのお届けとなります。

■次回定期例会

日時・新元号 五月二十五日(土) 午後一時十五分より (終了後、懇親会を開催。ぜひご参加ください。)

場所・足立区勤労福祉会館ブルミエ 第二洋室
福田有宵先生のご講演、他を予定。※詳細予定は、各教室でご案内します。

■前回一月度・有宵会定期例会参加者

七十二名の方がご参加されました。

五月の定期例会は、新しい元号を迎えての開催です。日本国民がそれぞれの節目を迎える貴重な瞬間ですね。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

事務局長 八川林加